

初任教育第74期 実科査閲種目説明及び実施予定時間

種 目		訓練内容	人数	実施予定 時間
入 場		小隊毎に入場します。	全学生	13:00
開始報告		総代から実科査閲の開始報告を行います。	全学生	13:03
訓練礼式	通常点検	規律厳正で強固な消防力を保持することを目的に、人員、姿勢、服装、健康状態等について点検します。	全学生	13:04
	中隊操練(停止間動作)	中隊の隊変換や方向変換などの部隊行動を規律正しく軽快に実施します。	第3中隊	13:13
	中隊操練(行進間動作)		第2中隊	13:19
消防活動 基本訓練	体操・体力錬成 訓練開始報告	訓練準備として、消防体操・体力錬成を行い、訓練安全心得を全員で呼称し、訓練開始報告を実施します。	第1中隊	13:27
	防火衣着装 ホース延長・収納	器具の取扱い及び平面でのホースラインの作成、ホース収納等の消火基礎技術の習熟度を確認することを目的に実施します。	8名	13:37
	ポンプ車操法	火災が発生している想定で、ホースの延長から放水までの基本操作を5人1組で実施します。	20名	13:42
	救急実技 (心肺蘇生法・搬送法)	消防隊(ポンプ隊)と救急隊(アンビュランス)が協力して行うPA連携活動を行います。重症が予想される傷病者に対し、救急現場に近い消防隊が出場し、いち早く救急処置を開始し、救急隊到着後速やかに病院に搬送するものです。	12名	13:49
	結索法	要救助者の救出や資機材の搬送を迅速かつ確実に行うため小綱や救助ロープを用いた結索法を実施します。	16名	13:55
	空気呼吸器操法	空気呼吸器の点検と迅速な装着を実施します。空気呼吸器は、災害現場で自分の呼吸を確保するために最も重要な資機材で、ボンベ内の空気により約20分間活動できます。	13名	14:02
訓練準備(10分)				14:07
救助訓練	三連梯子操法	三連梯子は、救助はもとより、火災等のあらゆる災害現場活動で欠かすことのできない資器材であり、搬送・架梯・登てい等の基本操作を習得し、高所等への進入技術を養います。	12名	14:17
	応急はしご救出	応急はしご救助は、火災救助で最も多用する高所救助法です。火災時、建物2階、3階程度の高所に逃げ遅れた要救助者を、三連はしごと救助ロープを活用し救出する方法です。	16名	14:21
	斜めモンキー登はん	渡過法は、足場がない空間などに救助ロープを水平に張り、消防隊員がロープを渡る技術で、河川の中州に残された要救助者の救出等に用います。セーラー渡過、モンキー渡過、チロリアン渡過、斜めモンキー登はんの4種類の渡過法を実施します。	3名	14:24
	チロリアン渡過		8名	
	モンキー渡過		6名	
	セーラー渡過		6名	
	座席懸垂降下 (作業姿勢)	降下法は、建物などの高所から救助ロープを活用して降りる技術で、ビル清掃用ゴンドラ内からの要救助者の救出や、ビル上階で活動中に不測の事態が発生した際に消防隊員が緊急脱出する方法等として用います。	6名	
オーバーハング降下	6名			
休憩(10分)				14:50
消防活動 応用訓練	三連梯子ホース延長 屋内進入	一般建物火災(立体活動)における消火基本技術の習熟度を確認することを目的とします。	4名 (補助4名)	15:00
	実践ポンプ操法	防火造2階建て専用住宅の2階部分から出火。周囲への延焼のおそれがあり、また2階ベランダに手振りの逃げ遅れ者が1名、さらに居室内に1名の確定情報あり、人命検索救助・延焼防止並びに火点消火にあたります。	24名 (補助6名)	15:04
消防広報	消火器・AED	消防広報は、消防活動の目的を言葉や表現などで表し、地域住民に語りかけ、理解を得ることにあります。本日のテーマは、消火器・AEDの取扱いについて、広報活動を実施致します。	16名	15:13
訓練準備(10分)				15:23
消防活動 総合訓練	大規模災害出場訓練	大規模災害を想定した一連の消防活動訓練を実施します。各隊は出場指令により防火衣着装後出場し、災害現場に到着してから延焼阻止するまでの活動を安全、確実、迅速に実施します。	全学生	15:33
	一斉放水		全学生	15:44
報 告	終了報告	総代から終了報告を行います。	全学生	15:46
講 評	学校長講評	学校長が講評を行います。	全学生	15:52